さらに豊かにイキイキと、県政この一年の動き

県民一人ひとりが自立し、互いに助けあい励ましあう「優しいくまもと」づくり。豊かな自然環境の中で力強い県政発展を遂げる「躍動するくまもと」づくり。そして県内のそれぞれの地域の特性を生かし、均衡のとれた県土づくりを進める「地域計画」。県では今年も、誰もが能力を生かしながら、明るい生活を実現できる、豊かな社会づくりを目指して、県総合計画「ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと」を推進してきました。今回は、今年一年の県の取り組みの中から、主な動きをふりかえってみます。

●熊本県香港駐在員事務所を開設（一月）

県内企業の海外展開の支援、アジアとの経済交流事業の拠点として、ジェトロ（日本貿易振興会）香港センター内に県の駐在員事務所を設置しました。駐在員事務所では、中国、東南アジア地域の情報収集、地元企業の商談等に関する事前調査等を行っています。

●阪神・淡路大震災被災地への支援活動と震災対策の強化（一月～）

一月十七日に発生した阪神・淡路大震災。本県でも、人的・物的の両面で、支援活動を行いました。このうち、保健医療活動としては、熊本市とともに医師、薬剤師、看護婦、保健婦などで編成する合同医療チームを派遣しました。合計十班延べ四百四十四人の医師、看護婦らが、神戸市長田区の住民避難所で活動を行い、受診者は二千六百名にのぼりました。

また、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、県では、防災計画の見直しをはじめ、「防災強化書」の県内各家庭への配布、大地震を想定した各種訓練の実施等、様々な事業に取り組み、震災対策を強化しました。

●県保健環境科学研究所が落成（三月二十三日）

施設・設備の老朽化に加え、試験検査業務の飛躍的増大等により、手狭になった衛生公害研究所を宇土市に移転、県の保健・環境に関する中核的試験研究機関として整備し、組織、名称を変更しました。

●「くまもと未来国体」のシンボルマークを制定（三月十四日）

平成十一年に熊本で開催される国民体育大会のシンボルマークを制定しました。くまもとの自然の水と緑、そして健康的なさわやかさをイメージしています。

また二十一世紀に向かって力強くはばたく人をデザインし、炬火を掲げて自らも光り、周囲を光らせ、全ての人たちへのやさしさをも表現、標語「人、光る。」愛称「くまもと未来国体」にふさわしいものになっています。

●「やさしいまちづくり条例（通称）」を制定

（三月十五日制定、四月一日施行／建物等の規定は十月一日施行）

高齢者や障害者を取り巻く様々な障壁を取り除き、県民だれもが共にいきいきと暮らす社会の創造を目指して「やさしいまちづくり条例（通称）」を制定しました。

十月二十五日には、やさしいまちづくりの考え方を県民の皆さんに理解していただき、共に推進していこうという目的でシンポジウムを開催しました。また、県では、やさしいまちづくりを総合的・計画的に推進していくため、具体的な事業を体系化した推進計画を策定しました。

（計画期間：平成八年度から十三年度まで）

●県産材需要拡大県民運動を実施（四月～）

外材や輸入住宅等に押され厳しい状況にある木材産業について意識を高めてもらい、県産木材の需要拡大を図ろうと、県産材需要拡大県民運動推進本部の設置、推進協議会の開催、推進大会の開催、需要拡大キャンペーン等を行いました。

県政この一年の主な動き

1月	熊本県香港駐在員事務所開設
1月18日	（財）水俣・芦北地域振興基金の第一回理事会開催
1月25日～3月26日	阪神・淡路大震災被災地へ医療チーム派遣
2月1日	県希少野生動植物の保護に関する条例に基づく特定希少野生動植物種及び保護区指定
2月6日	上内田川・岩野川平成二年発生災害復旧助成事業完成
2月14日	第三十五回熊本県農業コンクール大会表彰式
2月24日	国道２６６号菁町（めどまち）橋開通
3月1日	県営北津留団地第一期分しゅん工
3月14日	「くまもと未来国体」のシンボルマーク制定
3月15日	「やさしいまちづくり条例（通称）」制定
3月16日	「熊本県部落差別事象の発生の防止及び調査の規制に関する条例」制定
3月23日	県保健環境科学研究所落成
3月23日～3月26日	ワールド・パートナーシップ・フォーラムinクマモト開催
3月24日	一九九七年男子世界ハンドボール選手権大会シンボルマーク及び大会マスコット決定
3月27日	本渡港港湾計画策定
3月31日	熊本県景観整備基本計画策定
3月31日	高齢者や障害者にやさしいみちづくり事業完成（熊本玉名線ほか一路線）
4月	学校週五日制月二回実施
4月	いじめ・不登校アドバイザー配置
4月～9月	公営企業四十周年記念「子育て支援事業」実施
4月～	養殖クルマエビウイルス疾病対策の実施
4月1日	県産材需要拡大県民運動実施
4月6日	八代北部流域下水道の事業着手
4月20日～6月30日	熊本県家畜市場完成
4月21日	水俣湾七ツ瀬海域の仕切網撤去
	アドバンスト・ディスプレイ新工場建設着手

●養殖クルマエビウイルス疾病対策（四月～）

県水産研究センターでは、水産庁の指導を受けてクルマエビウイルス症の早期診断法を共同開発しました。この方法は潜伏中の微量なウイルス遺伝子を数十万倍に増幅して検出するもので、その結果平成七年の大矢野地区でのウイルス症による大量へい死はなく、生産の再開が期待されています。

●水俣湾七ツ瀬海域の仕切網を撤去（四月二十日～六月三十日）

平成元年度、国が定める「魚介類の水銀に係る暫定的規制値」を超える十六種が確認されて以来、七ツ瀬と水俣湾を内仕切網で区分、魚介類の水銀分析、集中捕獲などを実施してきましたが、今回その効果が確認されたため、七ツ瀬海域の仕切網を撤去しました。水俣湾海域については慎重を期して仕切網を残していますが、魚介類対策委員会の提言があれば、県民の理解を得て早期に撤去する方針です。

●熊本県工業連合会設立（五月十七日）

県工業の振興を図り、地域社会の発展に貢献することを目的として熊本県工業連合会が設立されました。

●白浜地区県営ほ場整備事業がしゅん工（五月二十五日）

熊本市河内町の白浜地区に、高生産性農業の確立を目指す二十一世紀型ほ場が完成しました。六十二haの水田を対象に一区画を一～三haの大区画に整備。これにより大型機械の導入が可能となり、労働時間が大幅に短縮されるほか、営農組合による農作業委託方式も動き出しています。

●九州新幹線熊本駅整備調整事業起工式（五月三十一日）

四月二十八日、九州新幹線熊本駅整備調整事業の工事実施計画が認可されたのを受けて、五月三十一日、起工式と祝賀会が盛大に行われました。式典には亀井運輸大臣をはじめ、政財界から約二百名が出席し九州新幹線鹿児島ルートの新たな一歩を祝いました。

●国民体育大会秋季主会場の建設に着手

（屋内運動広場　七月五日、主陸上競技場　十月二十六日）

平成十一年開催の国民体育大会に向けて、雨天時にもテニス、ソフトボール等のスポーツができる屋内運動広場、国際規模の大会も招致可能な三万人収容の一種公認陸上競技場の建設工事に着手しました。スポーツの拠点として完成が待ち望まれています。

●一九九七年男子世界ハンドボール選手権大会へ向けて

一九九七年五月に熊本で開催される男子世界ハンドボール選手権大会。その大会シンボルマークとマスコットを作成しました。シンボルマークはハンドボールの特徴であるシューティングのイメージを親しまれやすく表現しました。マスコットは熊本の県鳥「ひばり」をモチーフとして作成したものです。ひばりのかわいらしさに勇ましさを加えたキャラクターがシュートする姿は、ハンドボール界と県の飛躍を期す意味が込められています。なお、大会キャッチフレーズは「ボールもひとつ　地球もひとつ」「その一瞬　鳥になる」、マスコットの愛称は「飛勇太（ひゅうた）」に決まりました。

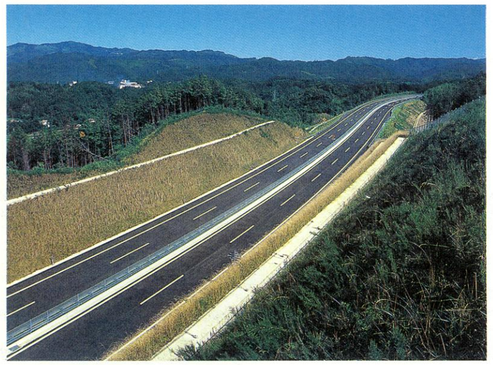
また、アイスランド大会（五月七日～二十一日）を視察したほか、会場で次期開催地熊本をＰＲしました。

さらに、七月二十一日から二十三日まで、プレイベントとして国際ハンドボール大会「熊本サマーカップ」を開催しました。本場ヨーロッパ選手のプレーや全日本チームの頑張りは会場に詰めかけた多くのファンを魅了しました。

●九州縦貫自動車道人吉～えびの間が開通

（開通記念イベント　七月二十二日、開通式　七月二十七日）

九州縦貫自動車道最後の未開通区間人吉～えびの間二十二・三kmが開通、これにより青森から鹿児島・宮崎までが高速道路で直結されました。この記念すべき開通を祝うとともに、今後一層の地域発展を願って、地元および各界関係者が出席し記念イベント及び開通式が行われました。



5月7日～5月21日	第十四回男子世界ハンドボール選手権アイスランド大会において熊本大会ＰＲ実施
5月10日～	熊本さわやか長寿大学校開講
5月12日	平成七年度熊本県看護の日記念式典開催
5月16日～5月17日	熊本県シルバースポーツ交流大会開催
5月17日	熊本県工業連合会設立
5月25日	白浜地区県営ほ場整備事業しゅん工記念式典開催
5月27日	輝き大会（知的障害者たちスポーツ大会）開催
5月31日	九州新幹線熊本駅整備調整事業起工式・祝賀会開催
6月3日～6月4日	くまもと環境プラザ'95開催
6月4日	熊本県民環境美化行動の日
6月5日	くまもと環境賞表彰式開催
6月8日	内水面漁業調整規則を改正施行
6月16日	サントリー「パブ・ブルワリー熊本」起工
6月17日	熊本県シルバー囲碁・将棋大会開催
6月30日	八代港港湾計画改訂
7月	身体障害者通所授産施設「ライン工房」落成
7月1日	県営団地身障者向け住戸改善事業しゅん工
7月5日	県民総合運動公園・屋内運動広場（仮称）建設工事着手
7月14日	一九九七年男子世界ハンドボール選手権大会キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター愛称決定
7月20日	林業研究グループリーダー研修会開講
7月21日～7月26日	熊本県少年の船実施
7月21日～7月23日	一九九七年男子世界ハンドボール選手権大会プレイベント「熊本サマーカップ」開催
7月22日・7月27日	九州縦貫自動車道人吉～えびの間開通記念イベント及び開通式開催
8月1日～8月10日	第十一回熊本国際青少年音楽フェスティバル開催
8月2日～8月8日	戦後五十周年記念戦没者遺品展開催
8月6日	ＴＳＬ（テクノスーパーライナー）八代港寄港に伴う見学会開催
8月7日	戦後五十周年記念平和祈念コンサート開催
8月7日	「くまもとファズ株式会社」設立
8月7日	熊本県少年の集い実施
8月11日～8月14日	林業担い手育成確保事業実施
8月16日～	日立造船有明新機械工場の長洲町への進出協定調印
8月21日	アジアフォーラムin熊本開催
8月23日～8月24日	くまもとアートポリスシンポジウム'95開催
8月25日	九州青年の船実施
8月27日～9月7日	